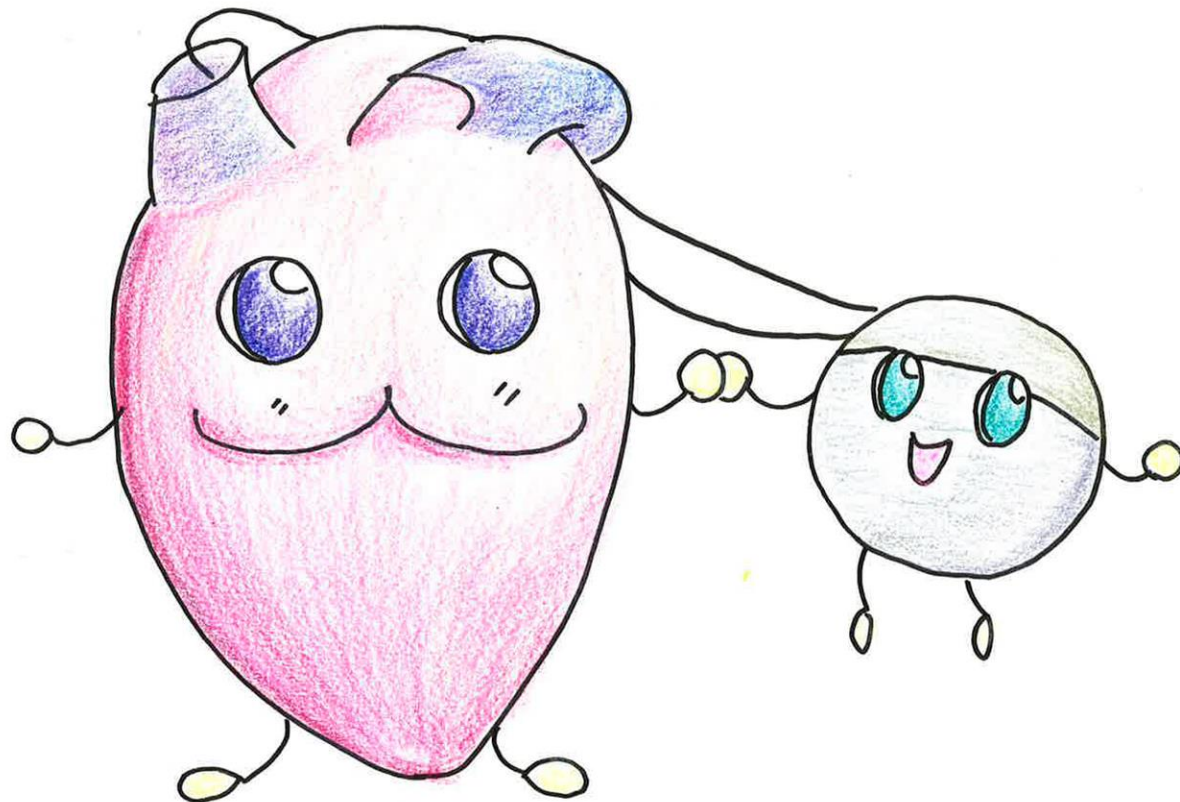
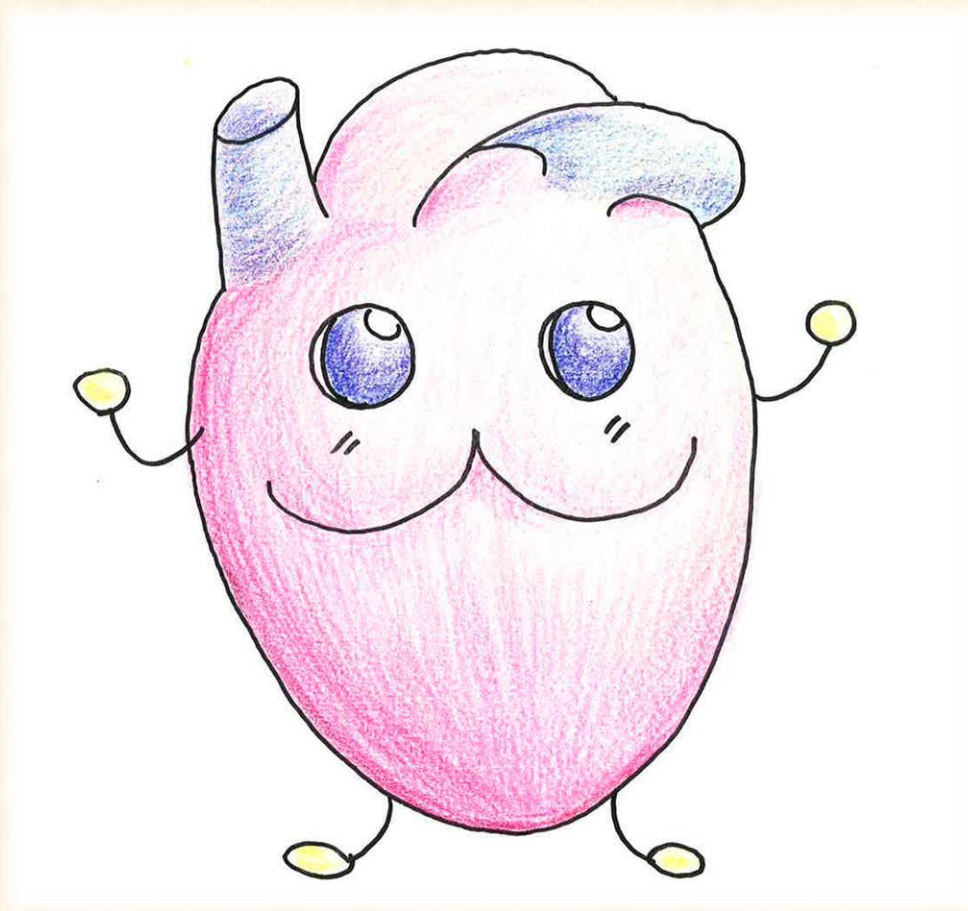


しんちゃん と ペーすけ

さく・え いわさ しほ



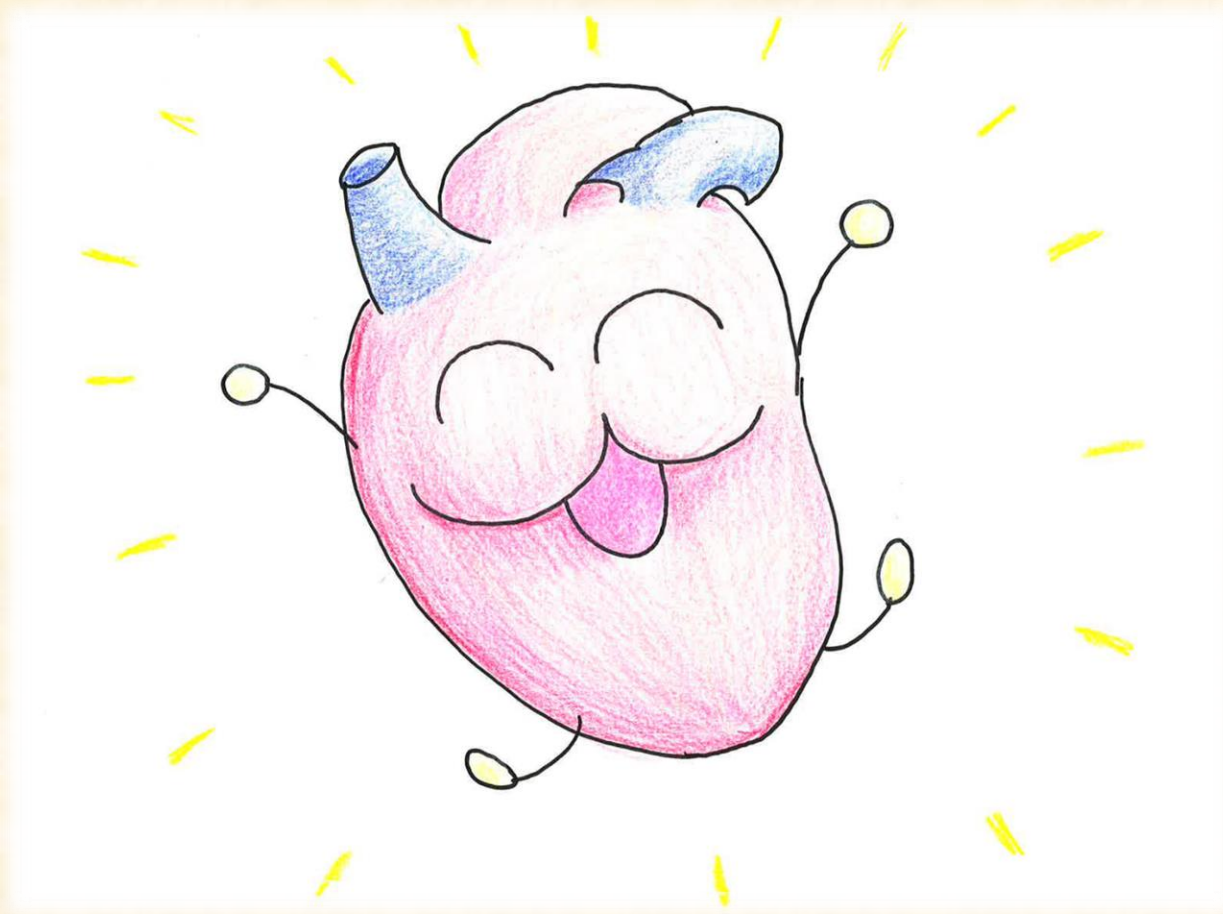
一般社団法人 日本不整脈デバイス工業会(JADIA)



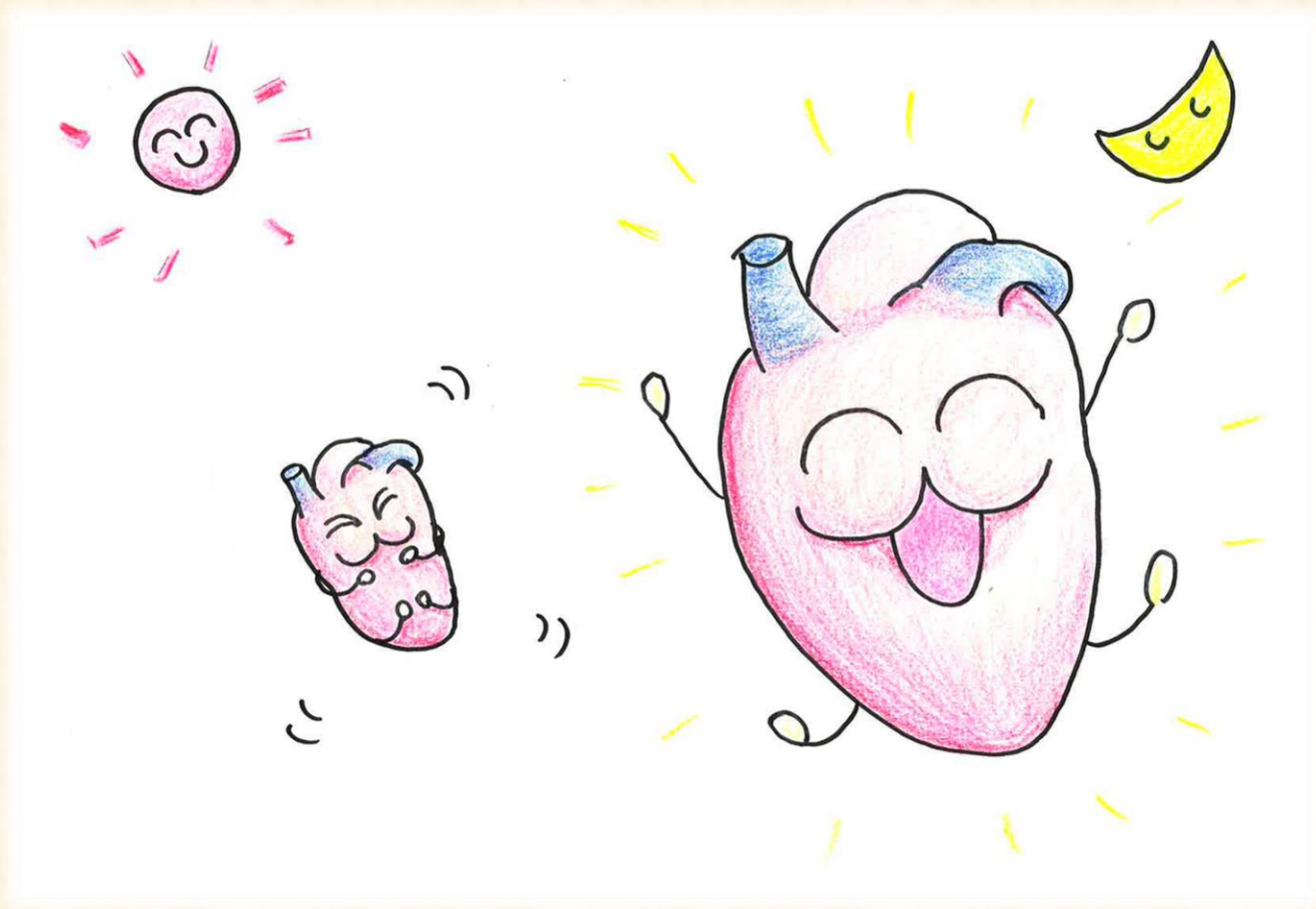
しんぞうの しんちゃんは「とつくん」あそびが だいすき。



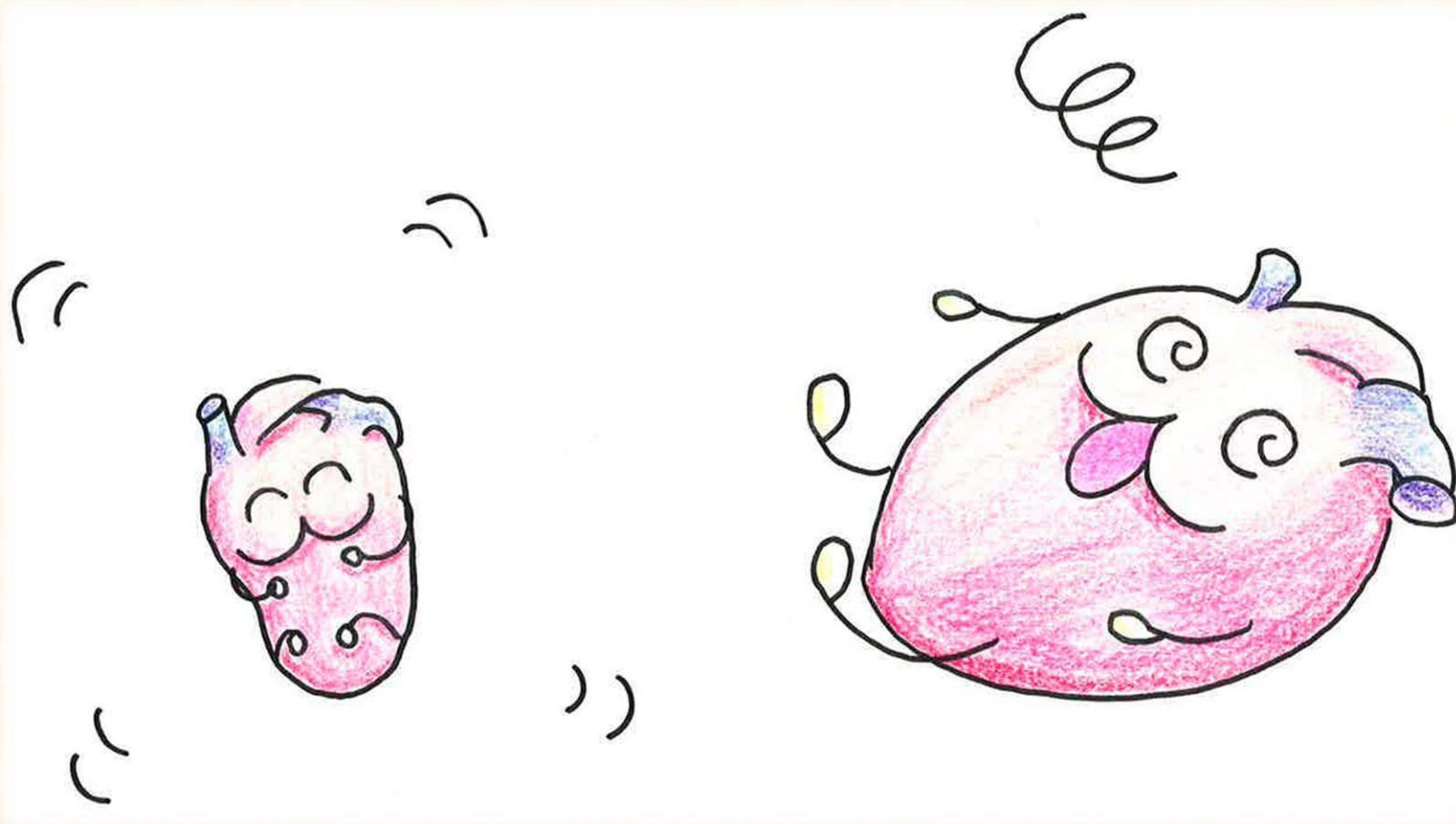
ぎゅーっと、からだを ちぢめて とっくん！



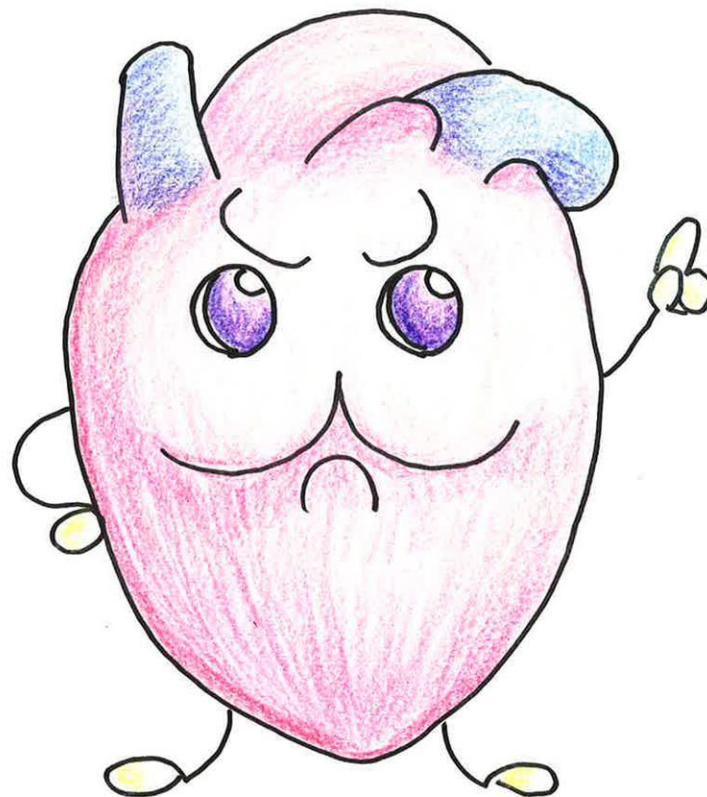
ばーんと、からだを ひろげて とっくん！



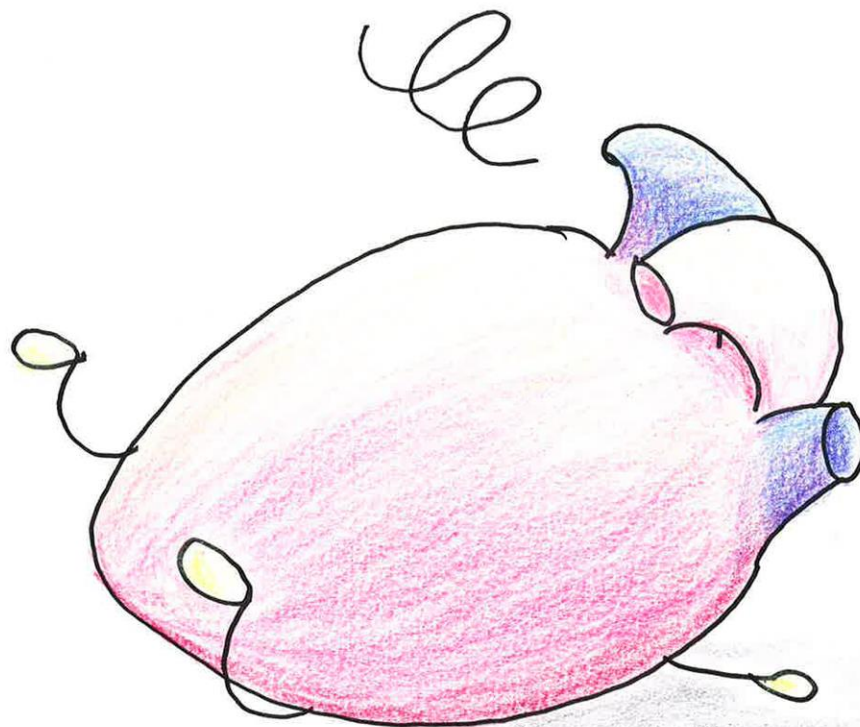
あさも よるも、やすまず とっくん!



でも そんなあるひ、いつものように
「とっくん」あそびを しようとしていた しんちゃんが、
きゆうに パタン。



きを とりなおして もういちど！

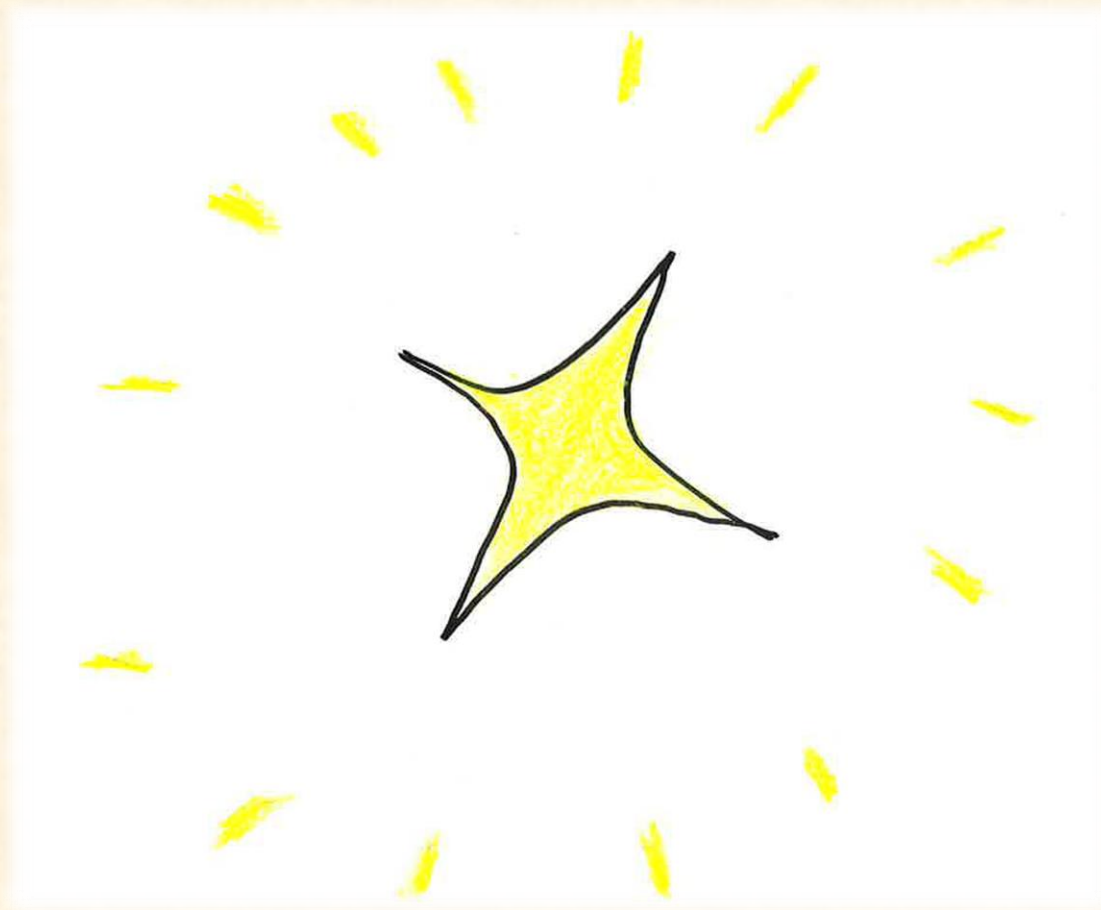


でも やっぱり、パタンと、とまって しまいます。

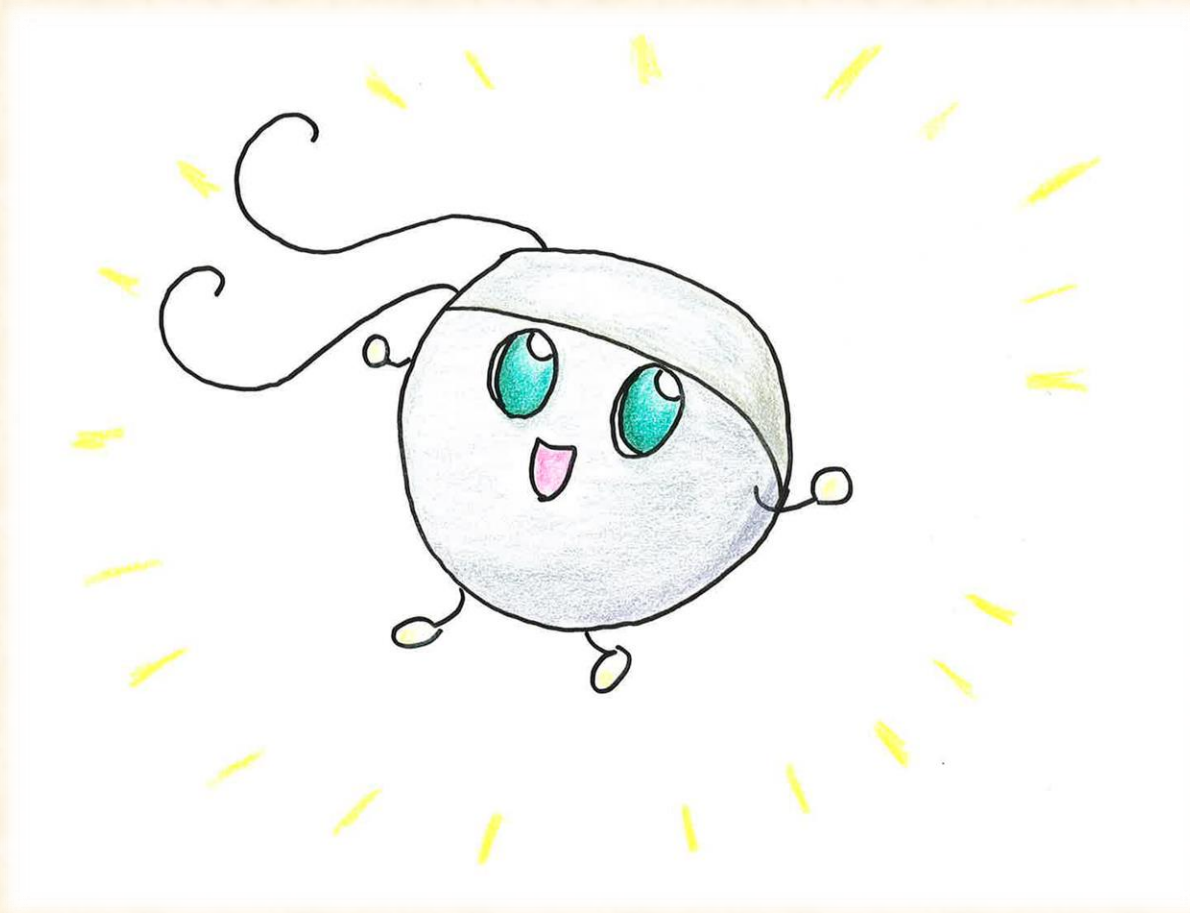


えーん、えーん。

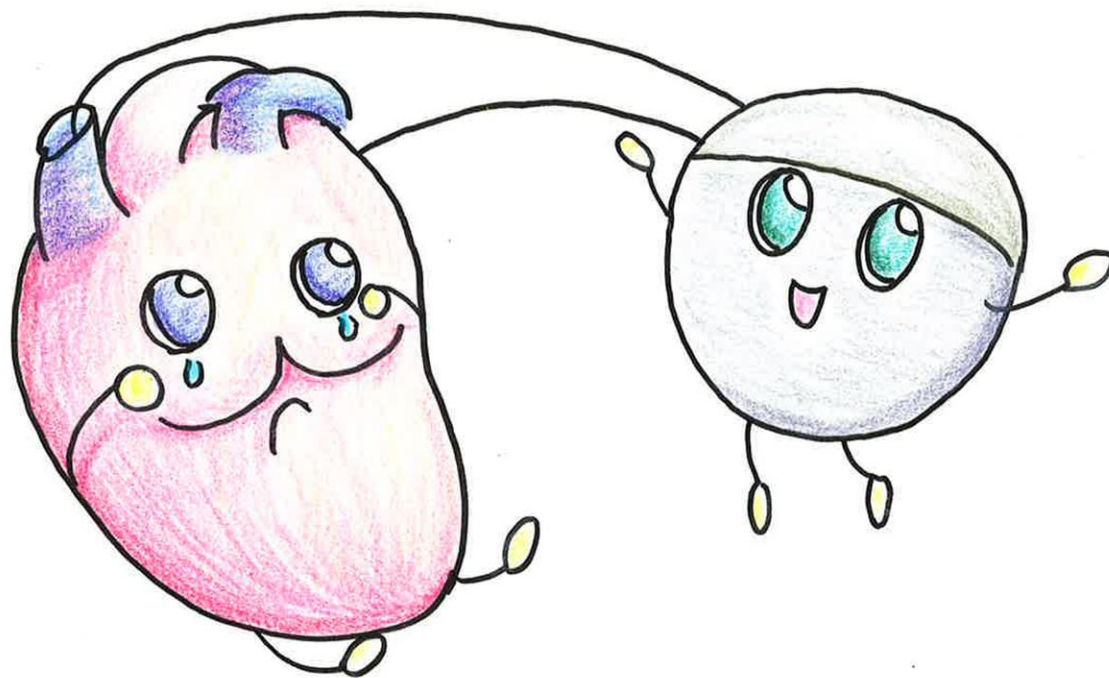
「ぼくの だいすきな「とっくん」が、できなくなっちゃったよ〜。」



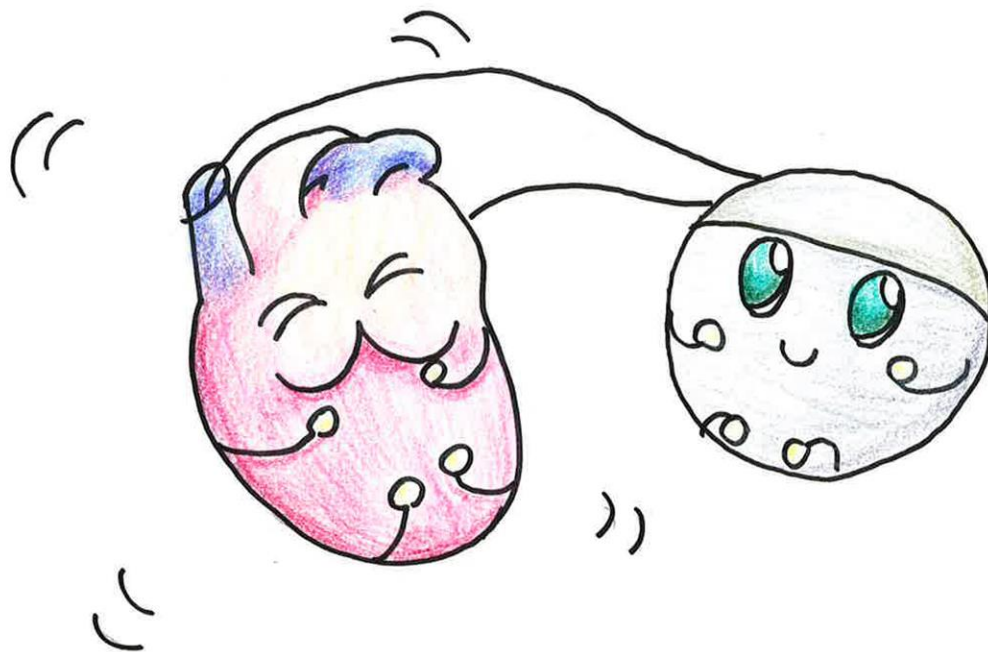
そこに きらっと、まぶしい ひかりが...



「ぼくは、ペースメーカーの ペーすけ！」

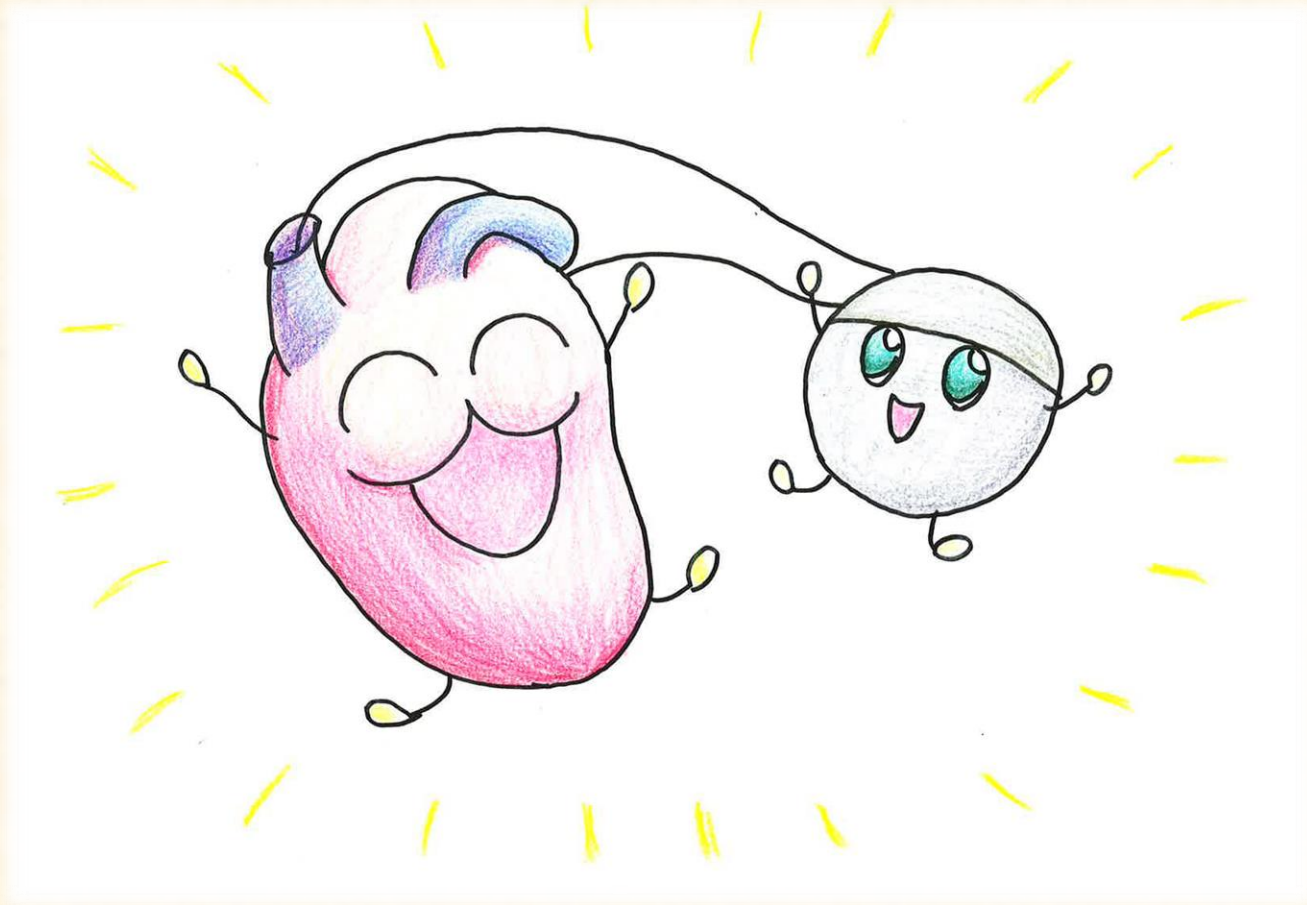


「ぼくの、この まほうのひもで、また「とっくん」が できるように してあげるよ。」
ペーすけの まほうのひもが、しんちゃんの なかに やさしく はいって いました。



「じゃー いくよー。せーのっ！」

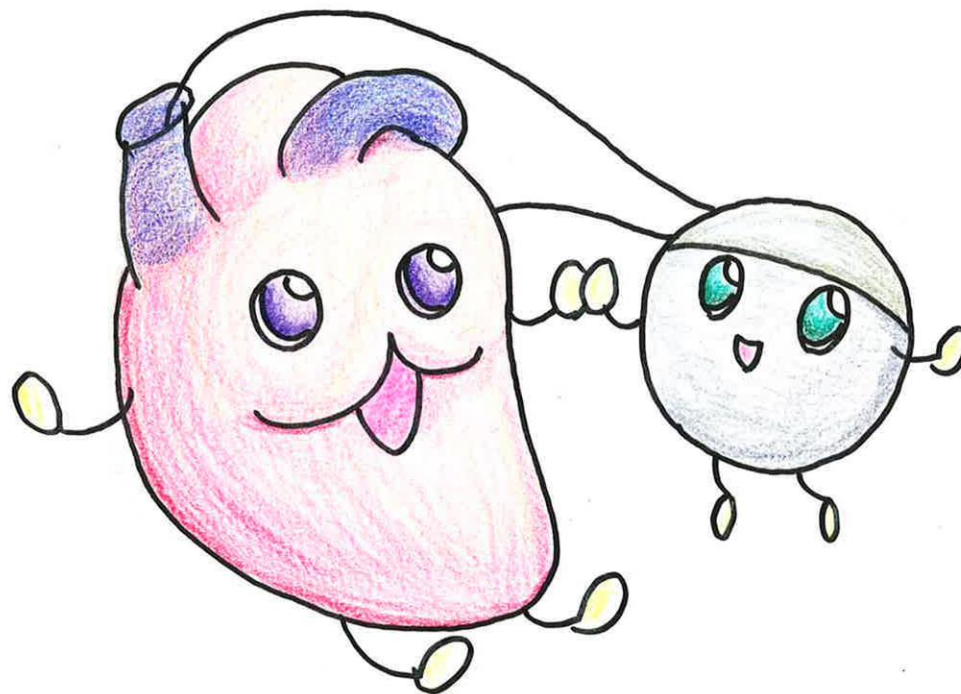
ぎゅーっと、からだを ちぢめて とつくん！



ばーんと、おおきく ひろげて とっくん！

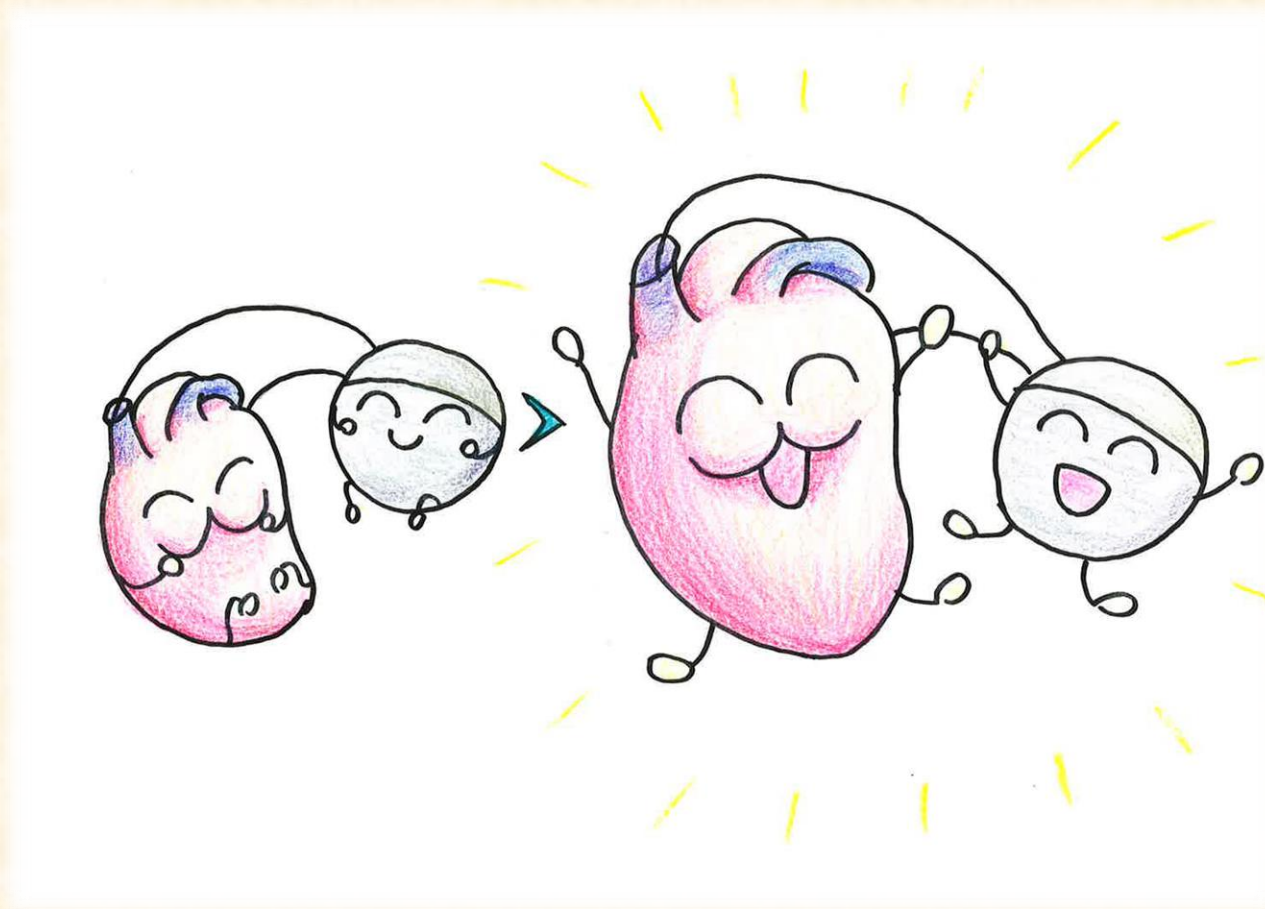
「わーい！もとどおり、「とっくん」が できるように なったよー！」

しんちゃんは、およろこび。



「しんちゃん、ぼくが ずーっと、そばに いるからね。」

「ペーすけちゃん、ありがとう。ぼくらは、ずーっと、ともだちだね！」



しんちゃんと ペーすけは、それから、ずっと いっしょに「とっくん」をして あそびました。

まいにち、やすまず、げんきに、とっくん♪
ちぢめて、とっくん♪ ひろげて、とっくん♪

ペーすけの すきなもの



ペーすけのきらいなもの



つよいちからに
たいあたりされること